

・道路の被害状況等(通行止め)

○地震発生後、翌朝には被災地への主要アクセスとなる国道3号及び国道57号のアクセスを確保

- ・当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約42kmを規制解除し、約80kmにおいて緊急車両の通行を確保

- ・8月1日より、南九州道 日奈久ＩＣから八代南ＩＣ間の緊急車両の通行を確保（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）

○7月29日から災害派遣従事車両を対象として高速無料措置を実施

【自治体支援】

○トイレ環境確保のため道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に8月1日までに4台を派遣済。さらに、今後3台派遣予定

○ガソリンの供給について、八代油槽所周辺の道路を速やかに復旧し、7月30日16時頃から供給



通行止め箇所(片野川橋 橋梁損傷)
E3九州自動車道(八代JCT~人吉IC)

※電力、通信、上下水道、鉄道について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請なし

※緊急車両とは、緊急自動車(赤色回転灯付の車両)

又は災害派遣等従事車両証明書を持参した車両など
(給水車両、タンクローリーについては災害派遣等従事
車両証明書を持参していなくても通行可能)

【凡例】

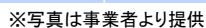
通行止め区間：

完了：

国道3号、国道57号(直轄国道)：

主な被災箇所：

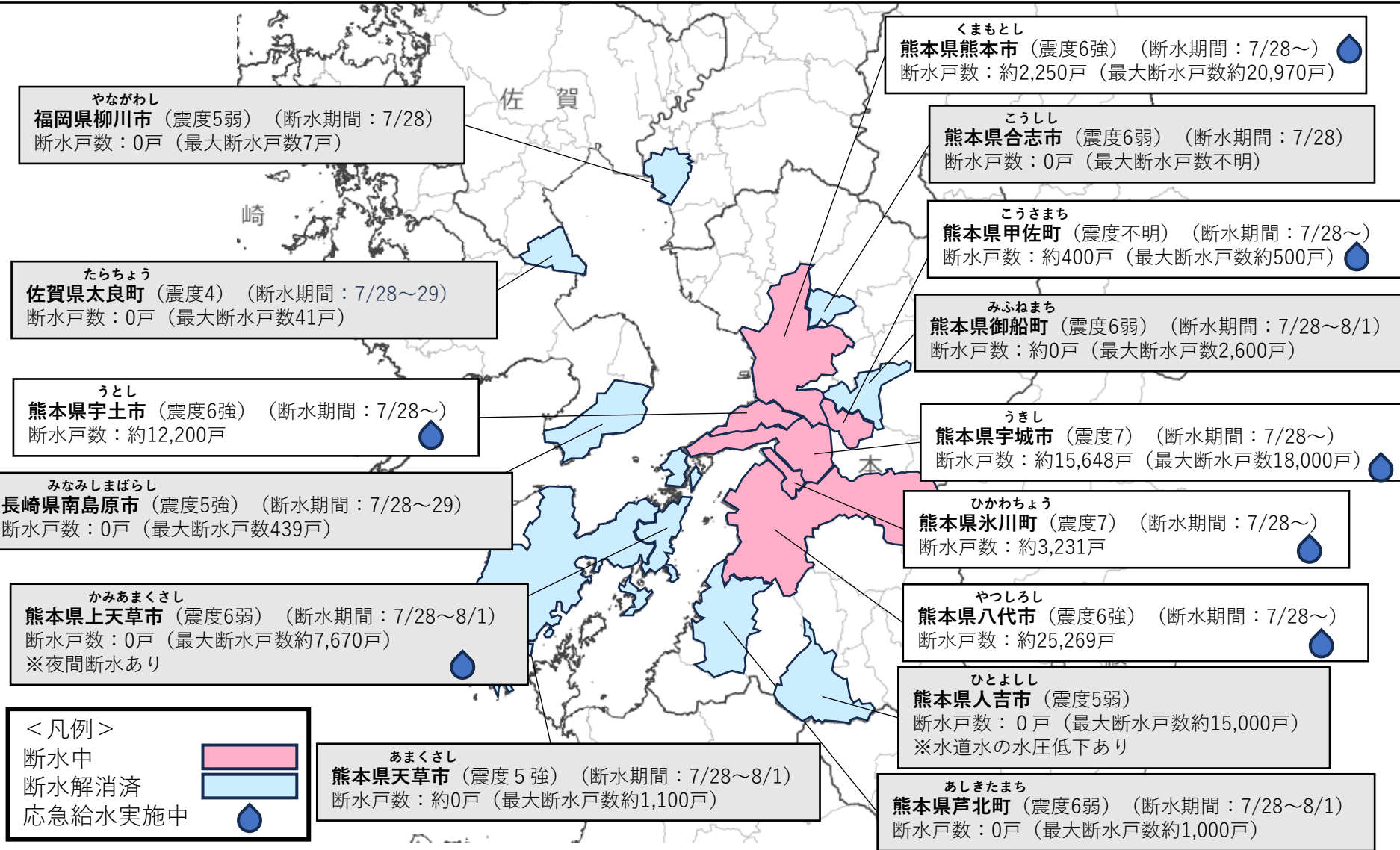
令和8年8月2日06:30時点



【令和8年熊本地震】水道施設の被害状況等について

国土交通省
令和8年8月2日
5:30時点

- 4 県（15 自治体）において断水が発生（最大断水戸数約108,100戸）。
- 1 県（6 自治体）において約59,000戸が断水中。
- 日本水道協会等による応急給水を順次実施中。



【令和8年熊本地震】 応急給水の状況

令和8年8月2日
5:30時点

(現状)

- ・ 1件(6自治体)において約59,000戸が断水中(最大断水戸数は、4県(15自治体)において約108,100戸)。
- ・ 国土交通省、日本水道協会、自衛隊において、全国からプッシュ型で支援するよう、給水車を確保。現在までに給水車133台を確保、このうち122台が活動中。

(課題)

- ① 被災自治体の体制が弱い(被災状況の把握、住民対応、応急処置、応急給水体制の確立、復旧への調査検討等で対応が逼迫)
- ② 自衛隊や国土交通省、水道事業者が全国から給水車を送る用意があるにも関わらず派遣先がわからない
- ③ 水不足の箇所に届かない

(対応)

- ・ 給水ニーズの把握、給水ポイントの設定の支援体制強化
- ・ 避難所・医療機関への優先の徹底
- ・ 自衛隊の協力、巡視船等からの給水により、量や頻度を上げて、給水の質を上げるとともに情報共有、効率化
- ・ 断水解消に向け、来週中を目処に概ねの応急復旧見込みを出すよう対応中

<給水車の派遣状況>

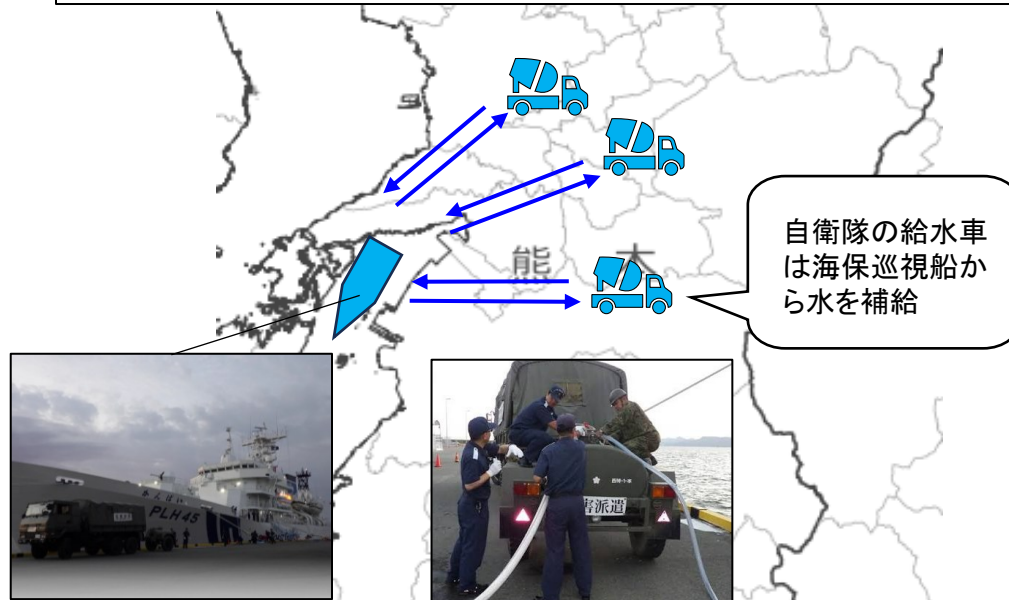
(単位:台)

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代環境事務組合 (八代市と氷川町で構成 される一部事務組合)	9		7	2 ※氷川町のみ
甲佐町	2		2	
宇城市	2 1	1	7	1 3
益城町	7	1	5	1
八代市	2 7	1	1 5	1 1
御船町	9		5	4
宇土市	1 4		1 0	4
上天草市	1 0		4	6
人吉市	0		0	
熊本市	7		4	3
芦北町	2			2
嘉島町	1 1	7	2	2
菊池市	3			3
(派遣先調整中)	1 1	8	3	
計	1 3 3	1 8	6 4	5 1

※上記の給水車を活用し、経産省の仮設トイレに給水

<海上保安庁との連携イメージ>

- 八代港に停泊する海上保安庁の巡視船から八代港周辺の給水車に対し給水
- 三角港に停泊する海上保安庁巡視船から病院関係者や住民に給水



八代港に停泊する海保の巡視船 巡視船から自衛隊給水車への給水

令和8年8月2日 6:30時点

- 5県110海岸において点検が完了。熊本県内9海岸で、護岸にクラックや損傷などの被害が確認された。
- 応急対策を実施中。(4/10箇所[※]で対策完了)
※浦海岸においては、「令和8年7月29日に発生した地震(最大震度5弱)」の点検結果により、被災箇所(1箇所)が追加。



令和8年熊本地震に伴う河川の被害状況等について

令和8年8月2日 4:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、点検完了し、3水系7河川90箇所 で堤防天端のクラックなどの被害を確認。これ以外の国管理河川は被害なし。
上記の内、250mにわたり堤防の沈下や亀裂、はらみ出しが生じた球磨川（くまがわ） 堤防で緊急的に応急復旧工事に着手。
その他箇所は応急対策に順次着手。
- 県管理河川では、5県1市（福岡県・佐賀県・長崎県・宮崎県・鹿児島県・熊本市）が管理する20水系53河川で点検が完了し、被害なし。
熊本県管理河川では点検が完了し、34河川275箇所（※点検結果整理中）で堤防沈下や護岸の変状などを確認。
- ダムでは、震度5弱以上の点検対象ダム（建設中：1、国管理：4、県管理：15、利水：37）で点検が完了し、被害なし。

被災した河川：—国管理 —県管理 施設の被災箇所：●国管理 ●県管理
河川の被害状況：□国管理 □県管理

<国管理河川>

白川（しらかわ）水系
天端クラック等 計3箇所

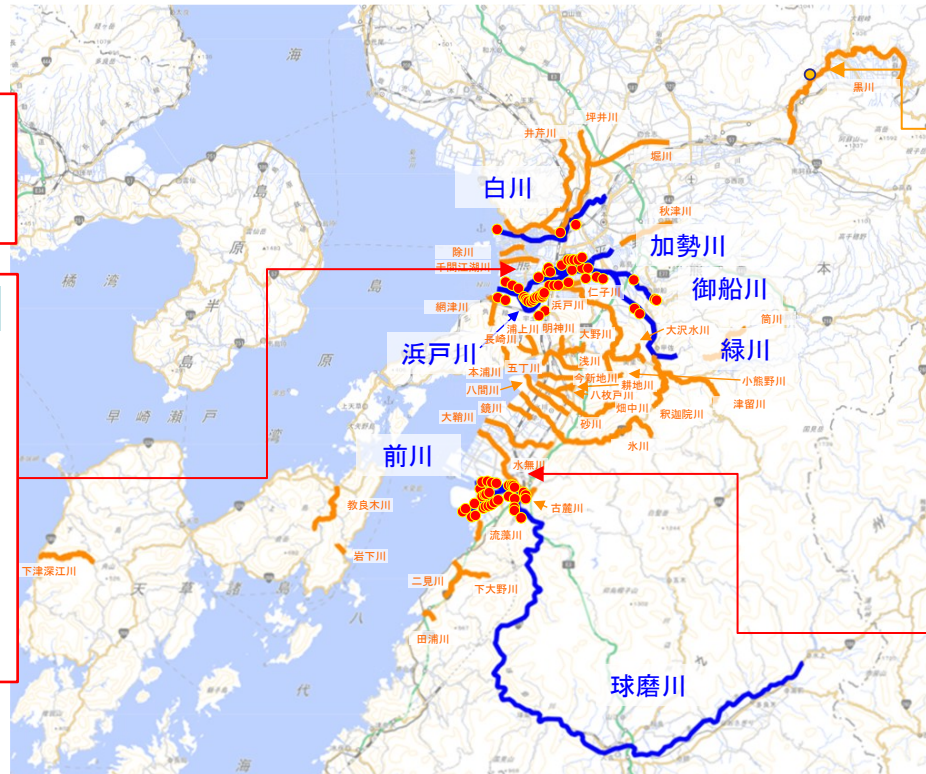
<国管理河川>

応急対策実施中

緑川水系（みどりかわ）
天端クラック等 計44箇所



（熊本県熊本市）



<熊本県管理河川>※点検実施中
堤防沈下や護岸の変状等

計34河川275箇所（点検結果整理中）

・白川（しらかわ）水系黒川（くろかわ）
※応急対策実施予定



（熊本県阿蘇市）

<国管理河川>

応急対策等 実施中

球磨川（くまがわ）水系
堤防沈下、天端クラック等 計43箇所



応急復旧実施中
の箇所



（熊本県八代市）

※8月1日（土）21時47分頃に熊本県で発生した地震について、
点検対象河川の点検実施中。

※被害情報のあった河川を明示